

Business Intelligence Solution



 **WebQuery 9.0**

 **FreeWay 11.0**

Oracle Solaris 11
検証結果報告

2015/9/4 (株)システムコンサルタント

検証の概要

● 検証環境について

下記の製品及び環境下において、WebQuery / FreeWay の動作確認、及びデータ抽出速度を検証しました。

(1) 対象製品

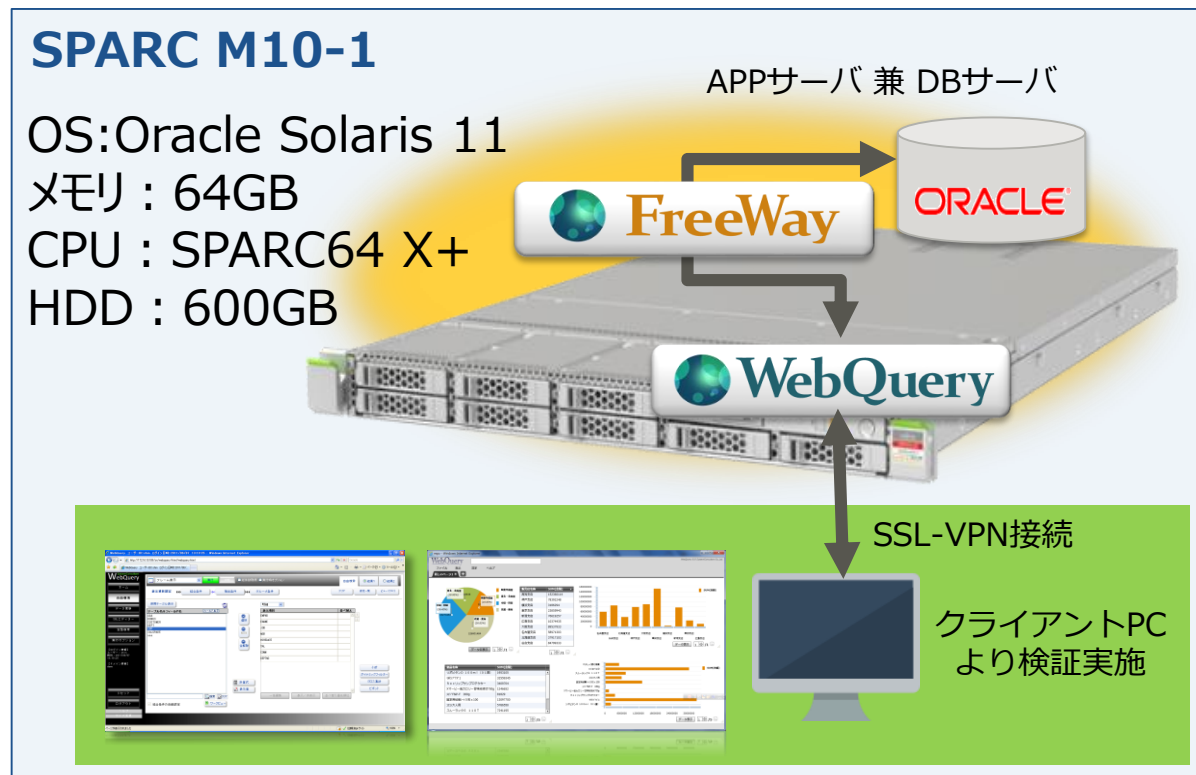
WebQuery 9.0
For Solaris (64bit)
FreeWay 11.0
For Solaris (64bit)

(2) 対象検証環境

右図参照

SPARC M10-1

OS: Oracle Solaris 11
メモリ: 64GB
CPU: SPARC64 X+
HDD: 600GB



● 検証項目

BIツール「WebQuery/FreeWay」をOracle Solaris11上にインストールし、以下の項目を検証しました。

(1) WebQuery / FreeWayの機能確認

以下の機能が、SPARC M10-1上にて正常に使用できるかの検証。

- ・ EUC機能（明細検索、グループ検索、抽出条件、テーブル結合）
- ・ BI機能（OLAP分析、レポーティング機能）
- ・ DB固有の機能との連携（DBセッション強制終了機能）

(2) WebQuery / FreeWay の速度検証（次頁で、テストの詳細を記載）
以下の環境で速度検証を実施。

①上記(1)と同一環境を使用

- ・チューニングなしのDBサーバで速度検証を実施。

②PRIMEFLEX for Oracle Database(*)環境を使用。

- ・チューニング済みのDBサーバで速度検証を実施。

DBサーバチューニング有無による弊社BIツールとの関連性を確認。

* : 高速Oracle Database基盤 FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX for Oracle Database
<http://jp.fujitsu.com/primeflex-oracle/>

●対象検証データ

10,000,000 件・10カラムの明細テーブル
(1レコード長：52byte)

●アウトプットについて

Webブラウザ上に出力

※速度検証では、上記検証データから抽出条件で特定の件数に絞って検索した際の速度（レスポンスタイム）を測定。

検証結果

●稼働検証、及び速度検証

稼働検証の結果、以下の全ての項目で正常に動作致しました。

- ・ EUC機能（明細検索、グループ検索、抽出条件、テーブル結合）
- ・ BI機能（OLAP分析、レポーティング機能）
- ・ DB固有の機能との連携（DBセッション強制終了機能）

速度検証の結果、DBサーバチューニング済みの環境では、レスポンスタイムが約34.3 %短縮された結果となりました。また抽出する件数が多い処理の方が、レスポンスタイムの短縮効果が高くなりました。

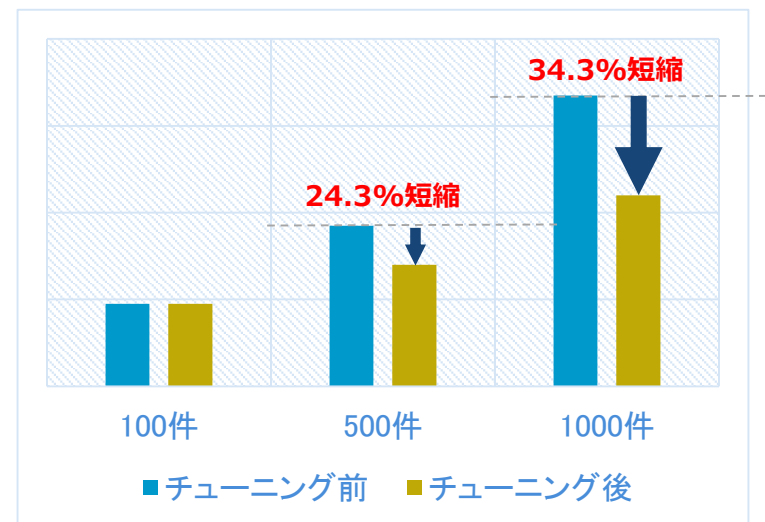
（次頁より、測定結果の詳細を記載）

パフォーマンス検証結果

●ブラウザ表示までの計測結果

DBサーバのチューニング前後で、レスポンスタイムが短縮された比率

100件	0.0%
500件	24.3%
1,000件	34.3%



※計測の範囲について

- ・ 計測結果は、クライアントPCのブラウザでWebQueryによるSQLの実行をしてから、ブラウザ上に結果が表示されるまでの時間とする。
- ・ クライアントPCとサーバ間は、SSL-VPN通信を使用。

- 今回の検証、及び製品に関するお問い合わせはこちらまで

株式会社システムコンサルタント
スーパーネット部

E-mail : sn-info@ksc.co.jp

URL : <http://www.ksc.co.jp/spnet/>

Tel : 03-3829-4411

Fax : 03-3829-4415

System Consultant Co., Ltd.